

中里地区

防災訓練



6月26日(日)

午前 9 時 ~ | 12 時

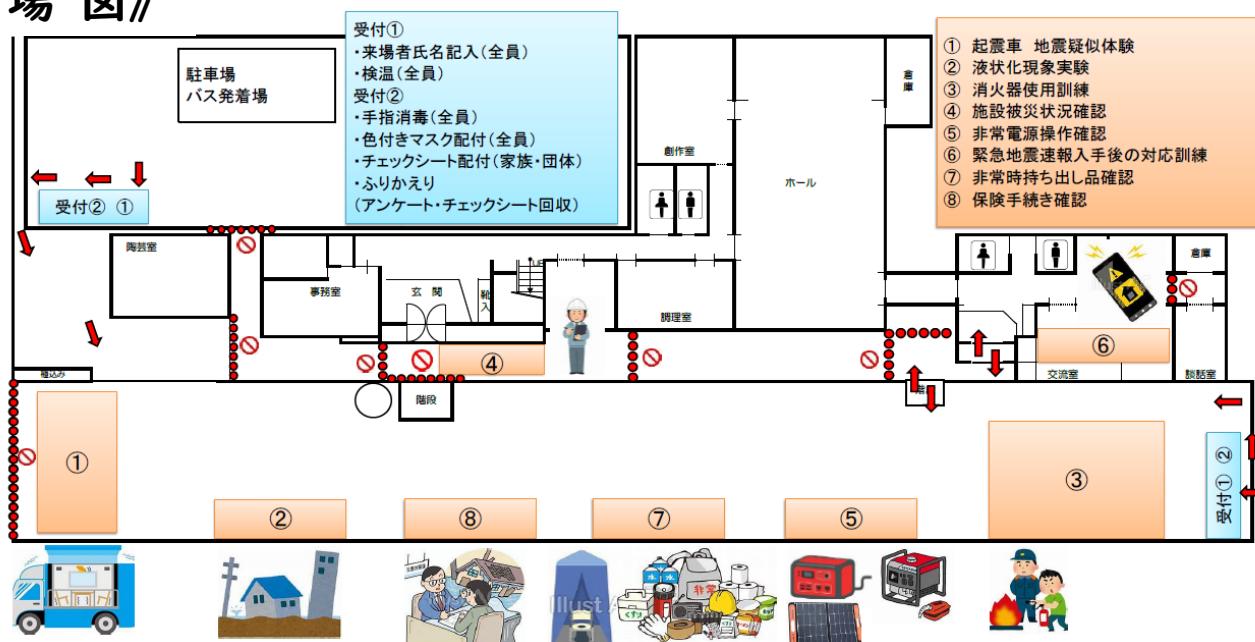
《場 所》 中里市民センター 駐車場・交流室

《対象者》 中里地区住民（乳幼児～高齢者）

《訓練目的》 地震発生時における人的・物的被害の拡大及び被災後の混乱を防ぐために、対応方法を習得する。

《訓練の流れ》 受付→訓練→アンケート→終了・解散
訓練をする順番は自由です。空いている場所に行って、訓練を受けます。

《会 場 図》



訓練内容

① 起震車による地震の疑似体験

地震の疑似体験を行い、地震発生時の身を守る方法を学びます。

地震の疑似体験は「東日本大震災」「熊本地震」「関東大震災」などの地震を選ぶことができます。地震によっては揺れ方が違うことも学ぶことができます。



③ 消火器使用訓練

いざという時に慌てずに消火ができるよう、実際に消火器を使って火を消す訓練を行います。

消火器の種類や使用期限などを学び、いざという時に使えるよう、保管の仕方を学びます。



⑤ 非常電源操作確認

地震時に停電することもあります。ライフラインを確保し、情報を入手するためには各家庭・個人においても非常用電源の確保が重要です。

非常電源種類を確認し、実際に使用できるように操作して非常時に備える訓練です。

また、安全に使用できるように携行缶の取り扱いや保管方法についても学びます。



⑦ 非常時持ち出し品の確認

災害が起きた時でも安心して生活できるための備えは大切です。「何を・どれだけ」備えたらよいかを専門の方から学びます。

展示品の中で購入したい物があれば「注文」を受け、後日受け渡します。



② 液状化現象の実験

東日本大震災の時、中里市民センター付近では液状化現象により地面が波打ったりマンホールが突き出たりしました。なぜ液状化現象が起きるのかを模型を使って液状化現象の仕組みを学びます。



④ 施設被災状況確認

中里市民センターは3月16日の福島県沖地震により「大破」という大きな被害を受けました。市民センターの被災状況を確認しながら、耐震性の重要性を専門家より説明を受けます。



⑥ 緊急地震速報入手後の対応訓練

携帯電話やテレビなどで緊急地震速報が鳴り、間もなく地震が発生することを知ることができます。

「緊急地震速報が鳴ってから地震が発生するまでの間」に命を守るために取るべき行動や日ごろの地震への備えについて学びます。



⑧ 保険手続きの確認

3月の福島県沖地震で被災した方から「保険の手続きの仕方がわからなくて困った」という声を多く寄せられました。

被災した場合に備えて、地震保険・火災保険など保険の種類を学ぶ他、証明となる被災状況の写真を用意するものなどを専門業者の方から説明を受けます。

